

第53回

伊豆長岡温泉

ぬえ

鶴ばらい祭

平成30年

1/28(日)

会場:湯らつくす公園

14:00~



見どころ

地元中学生による伝統芸能「鶴踊り」の披露

弓道家による弓のデモンストレーション

福を呼ぶ「豆まき」

芸者衆による踊り

ご当地キャラ「ぬえ左衛門」登場

商工会青年部による豪華景品が当たる「新春運だめし!くじ引き」

※雨天の場合、あやめ会館3階にて「鶴踊りの披露」「豆まき」「商工会青年部による【新春運だめし!くじ引き】」のみ開催します。(14:00~)

※駐車場に限りがありますので、出来る限り公共交通機関のご利用をお願いします。

イベント情報

主催/鶴ばらい祭実行委員会 TEL.055-948-0304 FAX.055-948-5151 共催/伊豆長岡温泉旅館協同組合
後援/伊豆の国市 美しい伊豆創造センター 協力/花柳衛樹舞踊研究所(伊豆太鼓) 伊豆長岡芸能事業協同組合 伊豆の国市弓道連盟

伊豆の国市観光協会

検索

※天候等によりイベント内容・会場等が変更となる場合がございます。

伊豆長岡温泉に泊まって厄払い!! 第53回 **鶺鴒ばらい祭** 平成30年 1/28 (日)

「鶺鴒ばらい祭」とは…

頭が猿、胴体が虎、尾が蛇の妖怪「鶺鴒」を、古奈の生まれであるあやめ御前の夫源頼政が退治したという故事に基づいて行われるようになったお祭り。

時は仁平年間（平安時代）のこと。宮中では近衛天皇が毎夜の如く奇病に悩まされた。深夜になると黒煙が御所を覆い鶺鴒の鳴き声が聞こえ、その度に天皇は苦しみました。その夜もヒョーヒョーという気味悪い声をあげながら黒煙とともに、警護についていた頼政と家来である猪早太・波辺競の前に姿を現した。弓の名手である頼政が力いっぱい弓を引くと鶺鴒に見事命中し、駆け寄った早太が剣で突き刺し、退治をした。それ以来、里人達は、薫で作った鶺鴒を焼いて災厄を逃れた。

毎年「鶺鴒ばらい祭」では、地元中学生がこの日のために練習を重ねた鶺鴒踊りを披露します。また、会場では弓のデモンストレーションや芸者衆による踊りや福を呼ぶ豆まきも行われます。



アクセス ACCESS

電車・バス 三島駅 — 伊豆箱根鉄道 (約20分) — 伊豆長岡駅 — バス (約10分) — 宗徳寺前バス停下車

お車 東名沼津I.C. 新東名長泉沼津I.C. — 東駿河湾環状道路・伊豆中央道 (約25分) — 伊豆長岡・湯らっくす公園

国道1号線・国道136号線経由 (約40分)

※駐車場はさかなやアネックスホテル西、または三楽の宿さかや、旧こだま荘跡地等をご利用頂きますが、台数に限りがございますのでできるだけ公共交通機関をご利用下さい。